

シナリオ

異類

いるい
こんいんたん

婚姻譚

イントロ



» 集めるべき参加者

専任のマスターがいなくても遊べます。

プレイヤー2人が想定されています。



参加者公開

プレイヤーも本文を読むことができます

舞台

架空の中近世

剣と魔法の世界。

人々が供物と引きかえにケダモノの庇護を願っていた頃……

むかしむかし

ケダモノを信仰している村がありました。

時折、彼らは花嫁をひとり選び、ケダモノに捧げます。

そうすることでケダモノが

自分たちを守ってくれると信じていたのです。

そして今年もまた。

ひとりの花嫁が、ケダモノの巣へとやってきました。

設定 A：ケダモノ

あなたは“闇の森”の住処で暮らすケダモノです。
回廊をぬけた先にある村で信仰されています。
あなた自身がどう考えているかはともかく、村人たちは花嫁と引き換えに、あなたの庇護を受けていると思っています。
そんなあなたのもとに、村で選ばれた「花嫁」がやってきました。あなたの巣で、奇妙な同居生活が始まります。

イントロ予言

あなたは「花嫁」の願いを叶えました

★ 設定

2個の設定から、ケダモノごとに1個選びます。設定に付記されたイントロ予言を獲得してください。

このシナリオでは自分以外の参加ケダモノを「伴侶」と呼びます。

設定 B：花嫁

ケダモノ種はニエを取得してください。
あなたは人間です。“闇の森”への回廊の近くにある、
「ケダモノ」を祀る村に暮らしています。
村で選ばれ、「ケダモノ」へと生贄として嫁いできました。
花嫁と呼ばれていますが、女性であるとはかぎりません。
気になるならば花婿など他の言葉で言い換えてください。

設定の詳細

あなたがなにを目的・動機としているのか、以下の項目から選ぶか、項目を参考に創作してください。
この目的はあくまでプレイヤーがキャラクターを考えるための手がかりです。物語中で目的を果たす必要はありませんし、心変わりして放棄してもかまいません。

☐ あなたは「ケダモノ」と会ったことがあります。
そして「ケダモノ」を愛し、添い遂げたいと思っています。

☐ あなたは「ケダモノ」を殺そうと好機をうかがっています。

☐ あなたは自分を生贄に捧げた故郷に復讐したいと思っています。

☐ あなたは村にいる大切な人のため、自分がこうして犠牲になることもいといません。

イントロ予言

あなたの人生は実りあるものでした